
おかえり、ダーリン

鹿の子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おかえり、ダーリン

【Nコード】

N4287P

【作者名】

鹿の子

【あらすじ】

何に追われるように焦りがあった私。
心を休めよう。

自分のために、大切な人のために。自サイトでも公開中。

たるんでる。

つか、緩んでいる。

いや、むしろ沈んでいるかも。

「いかん、いかん」

この空間と自分に何か動きを、と思い音楽をかけようとMDを捜す。

「あちゃ。ごちゃごちゃだあ」

引き出しの中はMDのカバーと中身が全く一致しない混乱ぶり。

「こんな、ごちゃごちゃしたままでよくも過ごしていたもんだわ」

こりゃ、まあ、よくないわさ、と思い整理なんかを始めてみようかと思った。

だからMDのかわりにラジオをつけた。

部屋でラジオを聴くなんて、百年ぶりかもしれない。

リビングの大きな窓の側にMDの入った引き出しを抜いて置いたあと、床の上に大きなクッションを敷いてそこに座る。

よいしょ、と窓に背中を向けて座れば、ほこほことした三月のお日様の恵みが降り注いでくる。

外に出ればまだ風は少し冷たいみたいだから、ほんと、おいしいところ取りの暖かさだ。

ラジオのトークをバックにカチャカチャと音を立てながら、MDの整理をする。

そんなことをしながら、どれもこれも少し前に流行った音楽だったことに気がついた。

余裕無かったもんね。
ないくせに、やりたがつて。
遂には胃を壊しちゃった。

何に追われるように、常に焦りがあつて。

立ち止まるのが恐くて。
置いていかれるのを恐れて。

自分のペースを考えずに、「みんなと同じ」ペースで走り続けようとした。

「よし、完了」

箱の中の混沌とした状態は既に去り、今ではすっきりくっきりと整理整頓されたMDがそこにあった。

「せっかくだから音楽にしますか」
その中から一つを取り出して、Playボタンを押した。

音楽を聴きながら濃いめの紅茶を入れて、温めたミルクをもたつぷりそこに注いだ。

ついでに、夕べの残りのグラタンを温めて、パンをトーストした。

心も体も満足したら、不思議なことにまた俄然元気が出てきた。

古くなったTシャツを切って、窓を拭く。

部屋のドアなんかも拭いてみる。

壁なぞも拭いてみて、意外と汚れていたもんだなあと感じる。

手を伸ばすと、腕の筋肉が動いているのがわかる。
しゃがんで低いところを拭いていると、足の筋肉が動くのがわかる。

この手も、足も、全部自分のもの。

そんな当たり前のことが、とてもありがたいなあと思った。
心と体。

私は自分の気持ちばかりを優先して、体の信号に気がつかなかった。

うん、そうだなあ。

うん、そこなんだなあ。

だから、ここで今気がつけて、ラッキーだったんだ。

心の速さに体がブレーキをかけた。

それも良く考えたら、当たり前のこと。

うん、そう。

さてとさてと。

少し遅くなったと焦りながらも、夕飯の買出しへGO。

うん、今日は、お鍋にしよう。

豚肉と白菜と人参と春雨。

おいしいお豆腐なんかも買って入れて、ポン酢で食べよう。

なあんて思っ、はりきってスーパーに入ろうとしたら「あつ。

ゆずこ」なんて呼ばれた。

あらら、と思って振り向くと、いつもよりも早い時間にこんな場所にいる私の旦那さんが。

見ると手にはなにやらお土産まであるような。

そして、彼は私の顔を見ると嬉しそうににこりと笑った。

心配かけていたんだなあ、と思った。

うん、そうだよ。そりゃ、そうだ。

でも、今の彼の顔。

きっと、それは今の私の顔でもあるんだ。

「おかえり」

私が言う。

「ゆずこも、だね」

彼が言う。

うん、ほんと。心配かけてごめんね。

そして、ありがとう。

彼の手をとる。

一緒に歩く。

おかえり、ダーリン。

ただいま、ダーリン。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4287p/>

おかえり、ダーリン

2011年10月8日12時25分発行